事業者向け　放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動スペースについて偏りが生じないよう距離を保つ工夫を心掛けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			利用人数等に応じて必要な人員を確保している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		トイレの出入り口が狭い為、身体障害の方には支障をきたすと思われる。玄関の段差も大きい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日サービス開始前に出勤職員全員でミーティングを行い、注意点や課題を共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			返却された評価表について結果を周知・共有し、 支援に繋げるよう心掛けている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			プライベートに留意しつつ定期的な公開に努めて いる。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	業務改善に繋げていけるよう努めていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		コロナ禍において参加機会は少なかったが、状況をみて外部研修への参加を再開している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			更なる細やかな点や幼少期のご様子を聞きながらアセスメントにも反映させていきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		障害特性が幅広く、全員に対して共通ツールを活用するのが難しい状態である。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		大枠での共通認識はあるものの、立案については現状一部の職員に偏りが生じている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者・保護者の希望・状態を考慮しながら、屋外・室内活動の内容を策定している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			それぞれの日に応じた課題や目標を決めて取り組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			目標に沿った活動を取り入れるようにして、計画への落とし込みを図っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			チェック項目４の通り。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎終了以降に一日の様子や今後の支援課題等を話し合い、翌日以降のミーティングで再確認する機会を持っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			体調や様子を日々記録している。今後もより細かに記録をし、支援の検証・改善に繋げていく。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリング時期を遵守している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインに沿った活動を常に意識しつつ、計画を立案している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者または児童発達支援管理責任者が行っている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			何れも児童発達支援管理責任者が連絡を受けた際には、直ちに管理者にも報告し情報を共有し、必要に応じた対応をとっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在対象者はいないが、受け入れる際にはしっかりと連絡体制を整え、可能な限り支援を行う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	幼少時代の機関とのやりとりは希薄である。必要に応じて連携を図っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			事業所での様子を書面にてお渡しして、ご用立てていただいている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	今後、連携に努めていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		未だ感染症が懸念される状況であり、交流を控えている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			ひたちなか市の福祉環境整備のための話し合いの委員に管理者がなっている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日頃の様子を送迎、面談、連絡帳、電話等でやり取りしており、必要に応じて更に適宜対応をとっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか			○	今後検討していく。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			支援の内容、ご利用料金、報酬等を折に触れお伝えしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			電話や面談等にて対応している。主に管理者、児童発達管理責任者が対応を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会等がないため保護者の方同士の連携支援という点においては課題が残る。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			その日のうちにお詫びをし、職員間で改善点等の話し合いを行い、今後の支援において徹底できるよう意識の再構築を行っている。

責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、活動内容や写真を載せたものを事業所の会報としてご家族にお配りしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			利用できる情報の範囲をご家族と共有し
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			ご家族と連携を図りながら、情報を共有させていただき、対応をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍のため交流を控えていたが、本部での祭り等では地域の方々と交流する機会がある。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員へのマニュアルの周知をするとともに、ご家族に災害時の対応法をお伝えしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月防災訓練を行っている。また、ご利用者と一緒に避難所まで実際に歩き、場所と避難に要する時間等を確認をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			ミーティングで日常的に周知徹底を図っている。また、支援時の行動についての反省点等を日頃から話し合っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	対象者がいないため「いいえ」と回答。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			情報を把握し、共有しながら支援・対応を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		事例を記録し、当該支援者が以降の支援に役立てるようにしているが、他支援者が共有する機会は少なく、今後の課題となる。